

令和7年度 第1回 白山市総合教育会議

日 時 令和7年7月9日（水）午後3時
場 所 白山市役所4階 402会議室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 協議事項

(1) 議題1 はくさん3育の推進について
～読育（よみいく）の充実に向けて～

(2) 議題2 コミュニティスクールの推進について

(3) その他

4 閉 会

令和7年度 第1回白山市総合教育会議 出席者名簿

職名	氏名
白山市長	田村敏和
白山市教育長	清水茂
白山市教育長職務代理者	竹内千恵子
白山市教育委員	尾張勝也
白山市教育委員	安川薰
白山市教育委員	佐賀一夫
白山市教育委員	林勝洋
教育部長	谷口由紀枝
教育総務課長	西村幸広
学校教育課長	山口昭恵
学校指導課長	齋藤信之
生涯学習課長	東雅宏
松任図書館長	澤田憲司
美川図書館館長	中野康則
鶴来図書館館長	東陽一
子ども総合相談室長	和田寿美恵
教育総務課長補佐	瀬川達也
教育総務課主幹	山崎有香

令和7年度第1回総合教育会議 議題1

担当課：学校指導課、松任図書館図書課

議題	はくさん3育の推進について ～読育（よみいく）の充実に向けて～
内容	第2次白山市教育振興基本計画において、重点的取組と位置づけた「はくさん3育」の中で、「読育」は、読書活動を通じて、思考力や表現力とともに豊かな想像力を養い、感性を育みます。全小中学校に学校司書を配置するほか、デジタルアーカイブや電子図書など、バランスの良い情報技術の活用にもつなげていきます。
具体的説明	<p>1 学校図書館教育の推進について【学校指導課】</p> <p>児童生徒の読書環境の充実を図るために、平成9年に旧松任市で学校司書を小中学校に配置し、平成17年に白山市内全小中学校に学校司書を配置し、平成19年には学校図書館支援センターを設立した。現状として、全国と比較して、一人当たりの年間貸出数が抜きんでているが、近年は高止まりの傾向も伺える。児童生徒の資質・能力の向上に向け、学校図書館教育の更なる充実、発展を図る必要がある。</p> <p>(1) 学校司書の配置</p> <p>白山市内の全小中学校に専任の学校司書を配置しており、個に応じた読書指導や多様な読書活動、各教科における授業での図書資料の活用等、学校図書館教育を充実させている。また、市立図書館主催の「白山市図書館を使った調べ学習コンクール」や「ビブリオバトル中学生大会」の開催を支援し、学校との連携を密にすることで、より円滑な児童生徒の参加促進に努めている。</p> <p>現状</p> <p>R7年度 正規職員19名（70.4%）、会計年度任用職員8名であり、正規職員の採用が進んでいる。全国的には正規職員での学校司書の配置を行っている自治体はとても少ない。2024年文部科学省「R5年度公立学校における学校司書の配置状況調査」では常勤職員は、全体の13.3%である。</p> <p>課題</p> <p>正規の学校司書の比率が高まる一方で、経験の浅い学校司書が増え、学校間格差が広がることが危惧される。初任者や経験の浅い学校司書に対しての指導・研修や学校司書と司書教諭のスムーズな連携も課題となっている。支援センター係長や学校指導課図書担当を中心に定期的に面談をする等、改善を図っていきたい。</p>

(2) 学校図書館支援センターの設置

学校図書館支援センターでは、学校図書館の運営や活用を支援したり、市立図書館、学校図書館間の連携を推進したりしている。また、学校図書館支援センターが拠点となり、市立図書館と学校図書館の連携の強化や図書配達システムによる学校配達を通じて、学校間の相互貸借や市立図書館からの貸出が効率的に行われている。図書館支援センター職員による学校図書館訪問は、専門的な支援や連携強化、問題解決のサポートを通じて、学校図書館の質を向上させ、児童生徒の学びを支えている。

現状

R7年度 正規職員1名、会計年度任用職員2名が配置され、学校図書館と市立図書館の連携のハブになっている。学校指導課の所属となり、学校図書館支援センター係長の図書館訪問を通して、初任者へのサポートや、各学校司書との面談から助言、指導や校内研修への講師を行っている。学校での認知度も上がり、支援センター発信の取組もしやすくなってきている。学校指導課図書担当と連携しながら、市として取り組んで欲しいことや重点を各学校へ伝えることができている。

課題

学校図書館支援センターの認知度が上がり、問い合わせや依頼が増えている。また、探究的な学習や個別最適な学びの推進で学校からのレファレンスも多様化している。学校図書館支援センターに正規職員を配置し2年目となることから、これまでの取組を分類・整理し、より質の高い支援となるよう努めたい。

(3) 図書ボランティアの活動

小学校11校、中学校2校、計13校で88名の方がボランティアとして登録し、主に朝の読み聞かせ活動を行っている。

現状

図書ボランティアの方は、経験豊富で質の高い活動を継続的に行っている。子ども達も、読み聞かせの機会をとても楽しみにしており、本が好きになるきっかけともなっている。

課題

図書ボランティアのメンバーが高齢化し、これまでの活動の継続が難しくなってきている。生涯学習課と連携し、ボランティア活動の趣旨や内容の周知を図り、持続可能な形を模索していきたい。

2 子どもの本への興味や関心を高める読書環境の拡大について 【松任図書館図書課】

市立図書館では、読書環境の公平性を保つため、図書館の利用が困難な地域については移動図書館車を運行するほか、電子図書館を運用してこれをカバーしています。

(1) 電子図書館の利用促進

現状

はくさん電子図書館は、スマートフォンやタブレット端末などのインターネット接続機器を使用する関係上、当初は主に大人を対象とした選定がされていた。現在、電子図書コンテンツのうち、児童向けの電子図書が占める割合は15%未満と通常の図書館の割合を約5ポイント下回っている。

課題

スマートフォンの普及により、子どもの所持率も上昇し、大人のように利用できることが想定されるが、全体の貸出に占める児童向けの電子図書の割合は約12%、18歳以下の児童のアカウントによる実貸出人数も全体の6%未満と通常の図書館の割合から大きく下回っている。子どもの読書意欲を高める読書環境の構築と拡大を進めるため、児童向けのコンテンツの充実などの働きかけを検討する必要がある。

(2) 移動図書館の利用を通じての読書意欲の増進

現状

移動図書館は現在、隔週で月に2回、16ステーションを4コースに分けて運行しており、その半数は山ろくで開設している。現在のステーションにも児童館や小学校などの子ども施設があり、利用の割合は高い。

課題

保育所などの子ども施設において移動図書館を開設することで子どもの本に対する関心を高めていきたいが、開設可能な時間帯やコース取り、現行のステーションの維持の関係もあり、現在のコース上に新規ステーションを追加することは難しい。運行コース、ステーションの再編、持続可能な状態での新コースの開設などについて検討していく必要があるが、コースの再編等の大きな改変準備の前に、希望する施設で臨時開館するなど、試験的な取り組みを行うことで今まで隠れていたニーズや要望等を掘り起こし、どのように対応していくかを協議することで、読書意欲の増進に繋げていきたい。

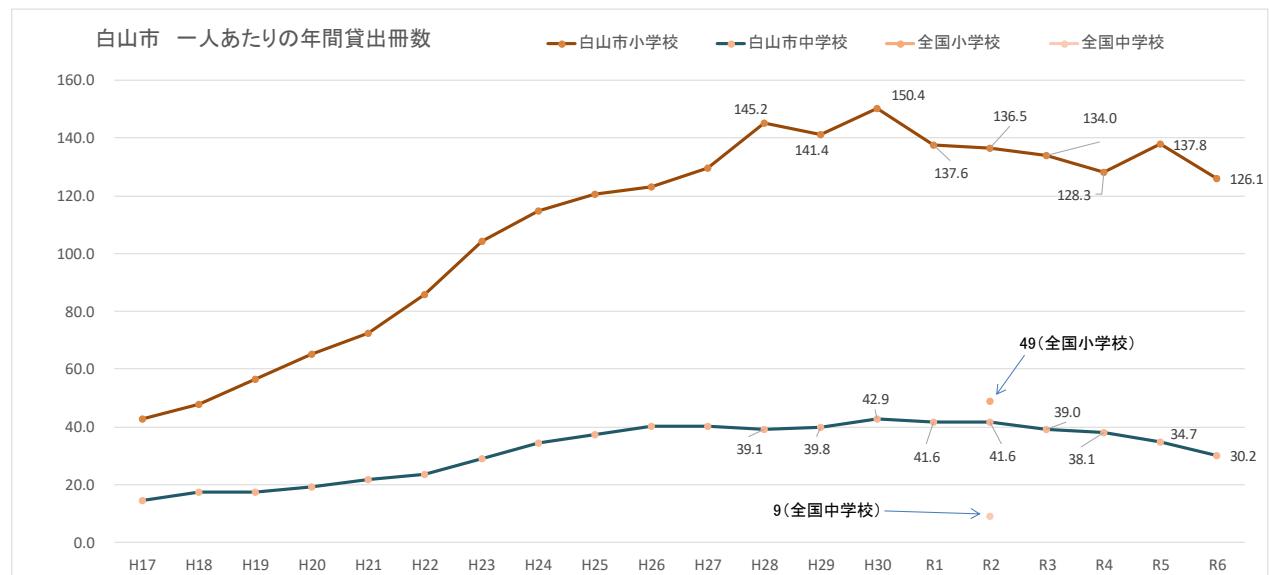
<別添資料>

資料1-1 白山市小中学校一人あたりの年間貸出冊数の変化、令和6年度学校図書館支援センターの学校図書館に関する実績

資料1-2 はくさん電子図書館サービス、移動図書館サービス実績

● 白山市小中学校一人あたりの年間貸出冊数の変化

一人あたりの年間貸出冊数	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
白山市小学校	42.7	47.8	56.5	65.2	72.5	86.0	104.3	114.7	120.6	123.0	129.6	145.2	141.4	150.4	137.6	136.5	134.0	128.3	137.8	126.1
白山市中学校	14.5	17.5	17.3	19.3	21.6	23.4	28.9	34.3	37.4	40.0	40.3	39.1	39.8	42.9	41.6	41.6	39.0	38.1	34.7	30.2
全国小学校																	49.0			
全国中学校																		9.0		



白山市学校図書館状況調査結果より
文部科学省「令和2年度 学校図書館の現状に関する調査 の結果について」より

● 令和6年度 学校図書館支援センターの学校図書館に関する実績

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	前年比
市立図書館から学校への貸出冊数 (短期・長期・絵本パック・先生文庫)	18,460冊	19,716冊	17,701冊	16,673冊	93.63%
学校からのレファレンス件数	377件	254件	267件	251件	141.43%
学校配達利用冊数	39,285冊	40,072冊	39,265冊	39,232冊	98.04%



● はくさん電子図書館サービス

電子図書館タイトル数 (令和7年4月1日現在)

タイトル数 (紙媒体での冊数)	総数	うち販売型	うち期間限定	うち独自資料	うち その他
総数	4, 324	3, 377	425	22	500
うち児童書	614 (14.2%)	472 (14.0%)	126 (29.6%)	16 (72.7%)	0

※「期間限定」は、利用期間が2年間又は貸出回数52回までなどの利用制限がある電子図書のこと。

【参考】令和6年度 松任図書館蔵書数 341,578冊 (うち児童書 71,092冊:20.8%)

電子図書館利用実績

年度	ログイン数	実利用者数		貸出冊数		うち児童	うち児童書
		うち児童	うち児童	うち児童	うち児童書		
R6年度	4, 735	222 (4.7%)	271	16 (5.9%)	2, 539	112 (4.4%)	305 (12.0%)
R5年度	3, 917	84	240	11	2, 483	33	306
R4年度	6, 473	88	293	17	3, 369	84	397

※「うち児童」は、総数のうち、18歳以下の児童の利用数。

【参考】令和6年度 松任図書館貸出数 341,737冊 (うち児童 63,092冊:18.5%)
(うち児童書 98,934冊:28.9%)

● 移動図書館サービス (令和6年度個人貸出実績)

コ ^ス	ステーション名	開館時間	貸出人数		貸出冊数		団体貸出冊数
			うち児童	うち児童	うち児童	うち児童書	
A (火)	★千代野児童センター	13:45~	87	2	432	12	27
	ファミリーマートAコーポ加賀野店	14:30~	60	1	296	3	3
	★湊児童ふれあいクラブ	15:30~	330	323	1, 357	1, 344	1, 263
	★蝶屋児童館	16:15~	272	225	1, 244	1, 065	1, 093
B (木)	あじさいの郷	13:30~	55	0	242	0	68
	つるぎショッピングスクエア・レツ	14:15~	61	1	193	4	62
	★西南部児童センター	15:15~	18	5	63	24	49
	★旭コミュニティセンター	16:15~	89	26	537	176	514
C (火)	鳥越コミュニティセンター	14:30~	39	2	152	15	9
	★吉野谷児童館	15:15~	48	16	121	38	52
	★鳥越小学校	16:00~	30	0	109	0	15
D (木)	白峰市民サービスセンター	11:30~	76	7	256	18	29
	★白峰小学校	12:50~	80	43	186	128	128
	旧憩の湯桑島	13:30~	27	0	158	0	16
	一里野あいあーる	14:45~	8	0	59	0	1
	道の駅瀬女	15:35~	117	51	550	275	196
★子ども施設に近接するステーション (8) 小計		954	640 (67.1%)	4, 119	2, 787 (67.7%)	3, 141 (76.3%)	2, 580
上記以外のステーション (8) 小計		443	62 (14.0%)	1, 906	315 (16.5%)	384 (20.1%)	1
16ステーション合計			1, 397	702 (50.3%)	5, 955	3, 102 (52.1%)	3, 525 (59.2%)
							2, 581

※「うち児童」は、総数のうち、18歳以下の児童の利用数。

※「団体貸出」は、ステーションに近接する施設・団体（学童、保育所等）への貸出。

令和7年度第1回総合教育会議 議題2

担当課：学校教育課

議題	コミュニティスクールの推進について
内容	<p>コミュニティスクールとは、学校に「学校運営協議会」が設置された学校のことであり、少子高齢化や教育現場の多様化など、社会の変化に伴い複雑化する問題について、地域の力を得ながら課題解決に導き、未来の創り手となる子どもたちの成長を、学校と地域とが一体となって支えていく制度。</p>
具体的説明	<p>現状</p> <p>本市のコミュニティスクールは、令和5年度に全小学校で、令和6年度には全中学校で導入しております。</p> <p>この制度により、学校と保護者と地域の方々が子どもを真ん中にして、ともに知恵を出し合い、学校運営にその意見を反映させることで、それぞれが抱える課題の解決や、地域と学校が協働しながら子どもたちの豊かな成長を見守り、支えることで、多世代にわたる地域の一体感の醸成にもつながることが期待できます。</p> <p>その核ともいえる、地域と学校の橋渡し役を担っていただくコーディネーターにつきましては、令和6年度に全小学校で配置、令和7年度には全中学校での配置が整う予定です。</p> <p>課題</p> <p>一方、現状はコーディネーター当事者のコミュニティスクールについての意識の不足、（これまで学校へのアプローチは行ってきたものの）地域へのアプローチ不足により、十分に機能しているとは言えません。またコーディネーターの活動については、学校（地域）間の差も見られます。</p> <p>今年度は、コーディネーターが全小中学校に配置されたことから、各々が役割意識を持ちながら学校や地域に必要な手立てを出来るよう、コーディネーター育成のための研修を進めます。</p> <p>＜別添資料＞ 資料2 白山市コミュニティスクール研修会 概要</p>

白山市コミュニティスクール研修会 概要

令和5年度から実施された、国の補助事業であるCSマイスター派遣事業により、NPO法人みらいずworks小見まいこ氏を講師として招き、初級研修・応用研修・先進校発表会を実施し、本市のコミュニティスクールが推進された。

令和7年度は、引き続き小見氏に依頼し通年の研修としてより高度な研修を行うことで、コミュニティスクールの更なる推進と、CSコーディネーター当事者の資質向上を図ることとしたい。

● 教職員管理職向けCSコーディネーター研修会 (実施済み)

日 時：6月24日(火) 18:30～20:30

場 所：市民交流センターはくさんホール5階 大会議室

対 象：小中学校教職員管理職、コーディネーター

内 容：コミュニティスクールにおけるコーディネーターの役割をより深めるための研修会

参加者：校長19名、教頭6名、コーディネーター19名、PTA1名、運協委1名

計46名



● CSコーディネーター向け初級～応用研修会 (予定)

日時：10月上旬(水) 18:30～20:30

場所：市民交流センターはくさんホール5階 大会議室

対象：コーディネーター

内容：コーディネーター初級及び応用研修
(詳細内容は調整中)

● CSコーディネーターと学校運営協議会との共同研修 (予定)

日時：11月～2月上旬 18:30～20:30

場所：市民交流センターはくさんホール5階 大会議室

対象：学校運営協議会委員及びコーディネーター

内容：学校運営協議会とコーディネーターの連携に関する研修会
(詳細内容は調整中)